



社団法人 広島市医師会 第346号 平成17年12月発行

臨床検査センターだより

〒730-8611 広島市中区千田町三丁目8番6号
 TEL (082)247-7191 / FAX (082)244-0403
 フリーダイヤル 0120-14-7191
<http://www.city.hiroshima.med.or.jp/>

目次	◇検査室紹介シリーズ(細胞診部門) ……………	1	◇今月の笑顔 ……………	5
	◇生体検査のご案内 ……………	3	◇D.I.質問箱 ……………	6
	◇尿試験紙の表示方法統一化について ……………	4	◇編集後記 ……………	6

検査室紹介シリーズ 最終回

細胞診部門

検査三科細胞診 青木 章乃



細胞診検査の業務は、大別して検体処理(塗抹、固定)、染色、スクリーニングおよび精度管理に分けられます。

現在7人のスタッフが在籍しており、内6人が細胞検査士・国際細胞検査士資格を取得しています。

主に婦人科領域、喀痰、尿の検査依頼が多く、年間約5万6千件です。

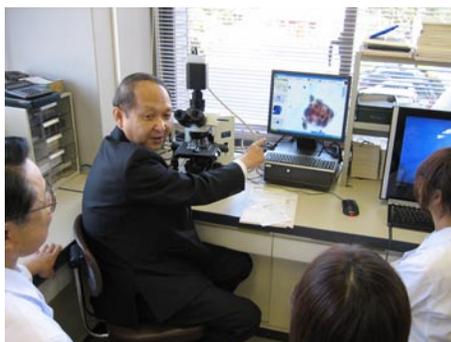
細胞学的診断はclass I～Vに分けられ、上記有資格者がスクリーニングを行っています。class I、class II(陰性)については、細胞検査士が診断を下します。class III(疑陽性)、class IV、V(悪性)は細胞検査士が異型細胞を見つけ出した後、診療科別にそれぞれ専門の細胞診指導医の先生方に最終診断をしていただいています。



診療支援

細胞診におけるスクリーニングでは、標本から異型細胞を見つけ出すだけでなく、必要に応じて出現した細胞から推定される悪性病変や良性病変についてもコメントしなければなりません。そういう背景もあり、細胞検査士の検査精度を高めるために、各々の検査士が推定される病変を記載し、指導医の先生方に指導していただいています。また、月2回指導医の先生とディスカッションする時間を設け、直接指導を受けています。

検体の提出方法や細胞診報告書の記載内容についてのお問合せに対しては電話で対応させていただいています。また、材料によっては会員の先生方にスライドを作製していただいたほうがスクリーニングに適している場合があり、主に電話で作製方法をお伝えしています。さらに、お問合せの内容によっては、病医院様を直接訪問させていただく場合もあります。



▲指導医とのディスカッション風景



精度管理

外部精度管理といたしましては、年1回2種類のサーベイに継続して参加し、良好な成績を収めています。

日臨技臨床検査精度管理調査(第1回～第17回)参加
広島県医師会臨床検査精度管理調査(第1回～第33回)参加

《検査室からのお願い》

スクリーニングする上で最も重要なのは細胞を観察するにあたって適した標本作製することです。Papanicolou染色において、乾燥した標本では細胞に変性加わり診断が困難な場合があります。的確な診断を報告するためにも細胞採取後、直ちに固定して頂くことをお勧めします。

細胞診部門では、血液検査部門、尿検査部門と共同で形態学検査の勉強会をパネルディスカッション形式で定期的に行っています。

細胞検査士・国際細胞検査士の資格は4年毎に資格更新の手続きを行わなければなりません。資格更新の条件として、学会への出席や検査士セミナー・ワークショップへの出席が義務づけられ、積極的に参加し、検査士の細胞に対する知識、技術の向上に努めています。

また、年2回開催される日本臨床細胞学会(春期大会・秋期大会)では、細胞検査士および医師が一同に会し、細胞診に関する技術や新しい知見などが討論されるなど細胞診の向上に役立っています。

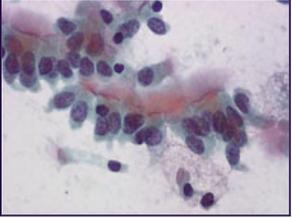
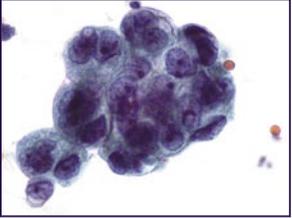


▲形態学検査の勉強会(パネルディスカッション)

顕微鏡写真





腔部・頸部
扁平上皮細胞

腔部・頸部
扁平上皮癌細胞

肺
線毛円柱上皮細胞

肺
腺癌細胞

※ホームページにはカラーで掲載しています。

生体検査のご案内

▼CT検査

ご予約先：(082)247-7191(代表)/フリーダイヤル0120-14-7191
(月～土曜日 8:30-19:00 受付予約)

▼乳房X線検査(マンモグラフィ)

実施日：毎週火曜日および木曜日 午後1時～3時 <予約不要>

※X線検査依頼状を持って検査センターまでお越しください。